

自分に合った効果的な英語学習方法を学びたい方に

効果的な英語の学び方

日本人にとって母語と語族的に遠い英語は習得が難しい言語です。やみくもに時間ばかり費やすのではなく、自分に合った効果的な方法や教材を賢く選んで学ぶことが大切です。この講義では、第二言語習得研究などから効果が明らかになっている学習方法や教材の選び方などについてお話し、英語力向上のヒントを提供します。

大山 慎一 教授

- 出張講義分野
外国語活動、外国語学習・教育(英語)
- 研究分野のキーワード
発音指導、動機付け、個人差
- 専門分野
英語科教育法、学校教育



大学ではこんなことを研究しています

日本人英語学習者に広く見られる「カタカナ英語」について、それを単に誤りとして排除するのではなく、教育的資源として活用することによって、学習者の発音不安を軽減し、結果的に英語運用能力の向上につなげることができるのではないかと考えています。現在は、通じやすさと学びやすさを重視した日本人英語学習者向けの発音モデル「Katakana English based-Pronunciation Model (KE-PM)」の開発に向けた研究に取り組んでいます。

先生からメッセージ

私自身も高校生の皆さんと同じ現役の英語学習者です。長年にわたり多くの失敗を重ねながら、効果的な英語学習の方法論を模索してきました。また、38年間の高校教員としての経験から、先生方が多忙を極める中で日々の授業改善に取り組んでおられる姿を熟知しています。そんな高校生や高校の先生方にとって、取り組みやすく、実行可能性の高い学習方法や教育方法の改善について、ご一緒に考えていけたらと願っています。

略歴 放送大学大学院修士課程修了。修士(学術)。元公立高校教員。山形県教育センター所長、山形県立酒田東高等学校長などを経て、2023年4月より東北公益文科大学特任教授。2024年4月より現職。